

本当の教えに出遇うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

無碍の一通 第33号

発行:2014年6月5日
発行者:淨土真宗本願寺派 長尾山 天龍寺
副住職 天野英昭
〒739-0147 東広島市八本松西6丁目10番1号
☎・FAX 082-428-0160・082-428-1360

安居会法座

日 時 6月23日（月） 9:00～15:00頃

朝席 9:00～11:00 ・ 夕席 13:00～15:00

ご講師 長岡 正信 師（呉市 西岸寺ご住職）

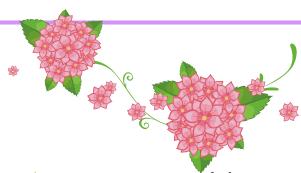
第35回歎異抄輪読会

日 時 6月19日（木） 19:00～20:30頃

ご講師 松田正典先生（広島大学名誉教授）

費 用 500円

参加者 天龍寺の門信徒の方のみならず、どなたでも参加は自由です



仏社・仏婦からのお知らせ

★コーラス練習

6月9日（月） 9:30～11:30 参加費 100円 参加は自由です。

★天龍寺清掃奉仕

6月14日（土） 13:30～15:00

佛教婦人会の皆様を中心に本堂周辺のお掃除をしていただきます。

★天龍寺佛教壯年会 月例会

6月30日（月） 19:00～20:30

★天龍寺佛教壯年会 夏の研修旅行（金子みすゞ記念館等）

7月29日（火） 6:45～19:00

参加費 9000円 まだ、余裕があります。



平成 26 年度念佛奉仕団を終えて・・・・

先般の 5 月 26 日（月）～5 月 28 日（水）にかけて平成 26 年度念佛奉仕団として、京都の西本願寺に参詣させていただきました。当山から私も含め 9 名のご参加をいただき、さらに 76 名の方と共に 2 泊 3 日の旅行でした。

寝食を共にする 2 泊 3 日の旅行をしますと日頃見られない所も見られます。自分が隠したいと思っている所も、以外と周りの人には気付かれているのかも知れません。「あの行動はどうかしら？いつもは優しいのにこんな一面があったのかしら？」等と様々な事を思い、一方で自分も周りの人から色々と判断されている存在だと思う事があります。

しかし私たちは、その様に表面的な所で繋がっているのではなく、もっと広く深いところで結ばれていると思うことがあります。「南無阿弥陀仏」という広く深いところで繋がっている『良き友』だと思います。

残念ながら私たちは自己中心的な考えに捉われ、その殻から抜け出せないです。細川先生・松田先生のお言葉をお借りしますと、『どんぐりのような物だ。右から風が吹けば左に振られ、左から風が吹けば右に振られる毎日を過ごしている。また自分の堅い殻の中で自己中心的な考えに捉われて、日々あれが良いあれが悪い・勝った負けた、得した損した、大きい小さい、長い短い、重い軽い、役に立つ役に立たない等と、日々の迷いに翻弄されながら生きていかなければならない存在だ。』本当にその通りだと思います。

しかし南無阿弥陀仏のお念佛と共に人生を歩むことは、どんぐりが光を浴び、水分を吸収して堅い殻が破れ、地に根が生え、上に向かって高く育っていく様に、私自身も堅い殻が阿弥陀様の大きな願いで破られ、大きな世界に出て、大きな世界の中で生きていくことが出来ると言われます。

とはいっても、私にとっては遠い話の様に思える所が正直な気持ちです。細川先生が、この堅い殻が破られるには時間が必要と言っておられます。また自分の力では絶対に破る事が出来ないとも言われます。

幸いに良き師・良き友に恵まれ、共に励ましあいながら、堅い殻が破られないまでも、安芸門徒の先人達と同じように、共にお浄土に向かって行く人生を様々な事に翻弄されながら、苦しみ・悩み・時には大きな悲しみ等に出遭いながらも一歩・一歩、歩ませていただければと思っております。また来年も多くの方と西本願寺へ参詣出来ればありがたいと存じます。

尊いご縁を誠にありがとうございました。

こんなご質問をよく受けます。

Q ご院号法名・ご法名はどこに置いておけばよいのですか。

A お仏壇の中に置いていただければと思います。またこれは個人的な意見ですが、ご院号法名・ご法名はお仏壇の引き出しの中であれば、少々の事では、色あせる事はないと思います。

Q ご院号法名・ご法名はいつ・どこで・どのようにしたらもらえるのか。

A ご院号法名・ご法名は生前中でもいただくことが出来ます。ただし、西本願寺・広島別院等で帰敬式ききょうしきを受けていただくことになります。念佛奉仕団にご参加をいただく、直接西本願寺へ参詣していただく、期日は決まっておりませんが、広島別院で帰敬式を受けて頂く等でご院号法名・ご法名をいただくことができます。